

# 令和2年度用「中学社会 地理」1年 年間指導計画作成資料（案）

## ◇ 移行措置期間中の教科書の扱いについて ◇

●現行版の教科書『中学社会 地理 地域にまなぶ』の「第1編 世界のさまざまな地域(p.11～p.120)」に、「日本の地域構成(第2編・第1章[p.125～136])」の学習内容を追加することで対応できます。

●現行版の教科書『中学社会 地理 地域にまなぶ』の「世界のさまざまな地域の調査(第1編・第4章[p.112～p.120])」の内容を省略し、「世界の諸地域(第1編・第3章)」において、「読み解こう」などで資料の読み取りに関する学習や、地図を活用する学習、適宜「ふりかえる」を活用するなどしてグループ討議の学習などを充実させることにより、「世界のさまざまな地域の調査」の内容を合わせて丁寧に指導することで対応できます。

## 令和2年6月版

### 取り扱いに当たっての留意事項

- 「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」では、学習内容や時数について考えられる案を示しています。学校や地域の実態に応じてご参照ください。
- 表中の「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」とは、「学校の授業以外の場で学習したことを基に、授業で各活動が展開されること」を前提としています。学校以外の場のみで学習が完結するということではありませんので、授業における配慮をお願いします。
- 単元ごとの配当時数、主な学習活動などは、今後変更になる可能性があります。予めご了承ください。
- 各単元の評価規準、及び評価基準については、弊社ウェブサイトの「年間指導計画・評価計画（案）」をご参照ください。

教育出版

# 地理的分野 指導計画表(第1学年)

※地理での時数54時間(予備7時間を含む)・うち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動5時間  
(第1学年の社会科全体の時数105時間・うち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動21時間)

※第1学年の総配当時数105時間に対し、教科書では地理的分野・歴史的分野を合わせて「本時」を92時間(地理:47時間,歴史:45時間)で設定し、残りの13時間を予備として、特設ページや地理の「学習のまとめと表現」などを弾力的に取り扱っていただくように構成しています。  
本資料では、地理的分野(第1学年)について、「第4章 世界のさまざまな地域の調査」などから5時間分を、学校の授業以外の場で行うことで、今年度のカリキュラムを42時間の授業時数で作成できるように提示しています。

## 第1編 世界のさまざまな地域 (配当54時間・うち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動5時間)

### 第1章 私たちの地球と世界の地域構成(配当5時間)

累計時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
1	①地球,そして世界へ… (p.12~13) ・「宇宙船地球号」より… ・陸地と海 ・三大陸と六大洋	○世界の大陸と海洋の位置と名称を知り,地球を大観する。 ○地球儀などを使って,陸地と海洋の分布や面積比を確かめることができる。	
2	②200近くの国々からなる世界 (p.14~15) ・200近くの国からなる世界 ・面積が小さな国と大きな国 ・人口の多い国と少ない国	○世界の主な国のうち,60か国程度の位置と名称を身に付ける。 ○地図帳を使って,世界各国の面積の大きい・小さいや,人口の多い・少ないを調べ,比較できる。	
3	③国名や国旗から世界をみると… (p.16~17) ・国名は語る ・国旗は語る ・国境は語る	○世界の主な国々を国名・国旗の由来や国境線からとらえ,その国の歴史や文化などの特色について関心をもつ。 ○地図帳のさくいんを使って国の位置を調べたり,さまざまな資料から国名・国旗の成り立ちを調べることができる。	○写真や資料とともに本文を読み進め,考えたことや感じたことをまとめる。 ○「ふりかえる」について,教科書以外に地図帳や資料などで調べながら取り組み,答をまとめる。 【1時間】
4	④地球儀に引かれた線は… (p.18~19) ・地球と地球儀 ・地球儀上の線について知ろう ・“地球番地”何番地?	○赤道や本初子午線,緯線や経線の意味を知り,日本の位置をとらえる。 ○地球儀を使って,地球上の位置を緯度と経度によって示すことができる。	
5	⑤地球儀から世界地図へ (p.20~21) ・地球儀から世界地図へ ・世界地図の特徴	○球体である地球を平面の世界地図に表す際に,面積・形・方位などのすべての要素を正しく描くことはできないことが理解できる。 ○地球儀や世界地図を活用しながら,さまざまな作業を通じて,投影法による世界地図の特徴の差異について関心をもつ。	
—	〈地理にアプローチ〉 世界の略地図を描こう (p.22)	○世界のおおまかな略地図を描くことができる。 ○これまで学習した内容を,世界の略地図を使ってまとめることができる。	

## 第2章 人々の生活と環境(配当8時間)

累計時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
6	①地域によって気候が変わる (p.24~25)  ・世界の気候 ・気候帯の分布	○23ページの「世界の気候帯の分布」と、気温と降水量のグラフを活用し、世界の気候帯の分布をとらえる。  ○大陸別の気候帯の分布について関心を持ち、それぞれの気候帯の特徴を比較し表現することができる。	
7	②赤道に沿った暑い世界 (p.26~27)  ・熱帯の自然環境 ・マレーシアの暮らしの変化	○熱帯の地域の自然環境の特色と、そこに暮らす人々の生活とその変化を理解する。  ○熱帯の気候分布図からその広がりの特徴を読み取り、気温と降水量のグラフから熱帯気候の特色をとらえることができる。	
8	③植物の少ない乾いた世界 (p.28~29)  ・乾燥帯の自然環境 ・モンゴルの暮らしの変化	○乾燥帯の地域の自然環境の特色と、そこに暮らす人々の生活とその変化を理解する。  ○乾燥帯の気候分布図からその広がりの特徴を読み取り、気温と降水量のグラフから乾燥帯気候の特色をとらえることができる。	
9	④季節の変化が明らかな世界 (p.30~31)  ・温帯の自然環境 ・ヨーロッパの暮らしの変化	○温帯の地域の自然環境の特色と、そこに暮らす人々の生活とその変化を理解する。  ○温帯の気候分布図からその広がりの特徴を読み取り、気温と降水量のグラフから温帯気候の特色をとらえることができる。	
10	⑤氷と白夜の世界 (p.32~33)  ・冷帯・寒帯の自然環境 ・寒冷な気候に対応した暮らし ・イヌイットの暮らしの変化	○冷帯(亜寒帯)・寒帯の地域の自然環境の特色と、そこに暮らす人々の生活とその変化を理解する。  ○冷帯(亜寒帯)・寒帯の気候分布図からその広がりの特徴を読み取り、気温と降水量のグラフから冷帯(亜寒帯)・寒帯気候の特色をとらえることができる。	
11	⑥標高が高く空気の薄い世界 (p.34~35)  ・高地の自然環境 ・アンデス高地の暮らしの変化	○標高の高い地域の自然環境の特色と、そこに暮らす人々の生活とその変化を理解する。  ○高山気候の分布図からその広がりの特徴を読み取り、気温と降水量のグラフから高山気候の特色をとらえることができる。	
12	⑦さまざまな言語と人々の暮らし (p.36~37)  ・民族と文化 ・言葉と人間 ・世界の言語 ・国家と言語	○世界にはさまざまな民族が暮らしており、それらをもとに多様な言語や文化が形成されていることを理解する。  ○多様な文化の存在を互いに認めて、共存していこうとする態度を養う。	
13	⑧さまざまな宗教と人々の暮らし (p.38~39)  ・世界の宗教 ・宗教と人々の慣習 ・イスラム教の教えと生活 ・宗教と人間	○世界の主な宗教の特色とその分布を理解する。  ○多様な宗教の存在を互いに認めて、共存していこうとする態度を養う。	

### 第3章 世界の諸地域(配当29時間)

#### 1. アジアの多様性と経済発展(配当7時間)

累計時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
14	①アジアをながめて (p.42~43)  ・アジアの歩み ・熱帯から寒帯まで広がる自然 ・アジアの一員としての日本	○アジア州の歴史と自然環境を大観し、アジアを構成する主な国々の位置と名称を理解する。  ○アジア州の地勢図から、主な自然地名や国々の位置と名称を読み取ることができる。	
15	②巨大な人口と多様な民族 (p.44~45)  ・13億をこえる人々 ・さまざまな民族 ・地域によって異なる農業	○中国を例に、多くの人口や多様な民族と、それらを支える農業生産の特色を理解する。  ○中国を例に、自然環境と人口分布、自然環境と農業の関係について考察し、表現できる。	
16	③「世界の工場」の出現 (p.46~47)  ・経済の改革と開放政策 ・外国企業の進出と工業発展 ・都市の生活の変化 ・深刻化する環境問題	○中国を例に、工業化と経済発展が進み、それによって人々の生活が変化していることを理解する。  ○中国を例に、経済発展とその背景、経済発展と人々の生活、環境問題の深刻化との関係について考え、表現できる。	
17	④工業化と大都市の成長 (p.48~49)  ・工業化の二つの道 ・韓国における都市の成長	○韓国を例に、工業化にともない、経済発展と都市化が進むことを理解する。  ○韓国を例に、大都市が成長することによって、どのような問題が引き起こされているのかを考え、表現できる。	
18	⑤変わる産業と貿易 (p.50~51)  ・豊かな農水産物や鉱産資源 ・進む工業化と貿易の変化 ・さまざまな民族と宗教 ・タイに暮らす人々	○東南アジアを例に、多様な宗教や民族、産業の特徴とその変化を理解する。  ○東南アジアを例に、工業化が進んだ背景や人々の生活の変化について考え、表現できる。	
19	⑥多様な農業と、世界とつながる工業 (p.52~53)  ・南アジアの農業 ・南アジアの工業 ・インドのICT産業	○南アジアを例に、農業・工業の発達や、近年のインドの産業の特徴であるICT産業の進展について理解する。  ○南アジアを例に、農業・工業の発達した背景や、ICT産業が近年進展してきた条件について考え、表現できる。	
20	⑦世界を動かす石油資源 (p.54~55)  ・豊富な石油資源と経済発展 ・伝統的な暮らしとその変化 ・サウジアラビアのイスラム教徒	○西アジアを例に、自然環境と人々の暮らしや、石油資源に依存した経済の特色を理解する。  ○西アジアを例に、石油資源が世界に対して影響を及ぼし、人々の伝統的な暮らしが変化していることについて考え、表現できる。	
—	◆地域から世界を考えよう 宗教をめぐる共存と対立 (p.57)  ・宗教をめぐる共存と対立 ・宗教対立の背景	○イスラム教を例に、宗教と人々の生活との関わりを理解する。  ○イスラム教を例に、宗教をめぐる対立があることを知り、平和的に共存するための方法を考えることができる。	

## 2. アフリカの人々の暮らしとその変化（配当4時間）

累計 時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動
21	①アフリカをながめて (p.58～59)  ・アフリカの位置と国々 ・アフリカの自然環境	○アフリカ州の位置と自然環境を大観し、アフリカを構成する主な国々の位置と名称を理解する。 ○アフリカ州の地勢図から、主な自然地名や国々の位置と名称を読み取ることができる。	
22	②アフリカの歩みと多様な民族 (p.60～61)  ・人類誕生の地 ・奴隷貿易と植民地による分割 ・独立後の歩みと国づくりの努力	○アフリカの国々の歴史と、現代につながる課題について理解する。  ○現代でも続く紛争や難民などについて関心を高め、アフリカの地域情報を集めたり調べたりすることができる。	
23	③伝統的な農村のいま (p.62～63)  ・自然に適応した農業 ・農産物の輸出国は食料の輸入国 ・農村から都市への流失する人口	○アフリカの農業について、自然環境との関係や輸出の特色を理解する。  ○アフリカで都市化が進むしくみと、それにもなっている問題について考え、表現できる。	
24	④変わる人々の暮らし (p.64～65)  ・豊富な鉱産資源 ・進まない工業化 ・モノカルチャー経済と課題 ・成長するアフリカ	○アフリカには豊富な鉱産資源が分布し、多くの国がそれらの輸出に頼るモノカルチャー経済から抜け出す努力を続けていることを理解する。 ○アフリカで工業化が進まない理由について、外国との関係の点から考え、表現できる。	
ー	◆地域から世界を考えよう 甘いチョコレートの苦い現実 (p.67)  ・カカオの実 ・カカオの生産と流通 ・働く子どもたち ・子どもの労働の禁止とフェアトレード	○アフリカで生産されるカカオを例に、農産物の生産、輸出とその問題について理解する。  ○フェアトレードについて関心をもち、身近な食品などから具体的に調べようとする態度を養う。	

### 3. 統合を強めるヨーロッパの国々（配当6時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
25	①ヨーロッパをながめて (p.68～69)  ・主な国を調べてみよう ・自然の違いをみてみよう ・宗教の違いをみてみよう	○ヨーロッパ州を大観し、自然環境や主な国々の位置と名称を理解する。  ○ヨーロッパ州の地勢図から、主な自然地名や国々の位置と名称を読み取ることができる。	
26	②ヨーロッパ連合への道のり (p.70～71)  ・西ヨーロッパの国々の影響力 ・国境を越えて結びつく国家 ・移動する人々と地域格差	○ヨーロッパ連合の成り立ちとその拡大について理解する。  ○ヨーロッパ連合加盟国における地域格差の状況とその要因について考え、表現できる。	
27	③ヨーロッパ農業のいま (p.72～73)  ・ヨーロッパの農牧業 ・農業大国フランス ・EUの目ざす農業	○ヨーロッパの農業について、自然環境との関係から地域的特色を理解する。  ○フランスを例に、農業生産の特色やヨーロッパ連合との関わりについて考え、表現できる。	
28	④国境を越える工業生産 (p.74～75)  ・工業地域の発展と移動 ・工業先進国ドイツ ・工業地域の拡大	○ヨーロッパ連合の工業について、資源分布との関係や工業地域の変化、地域格差について理解する。  ○ドイツを例に、工業の発展と外国人労働者の増加の関係について考え、表現できる。	
29	⑤市民が取り組む環境対策 (p.76～77)  ・国境を越える環境問題 ・自然の力を生かした発電 ・環境対策の進むオランダ	○ヨーロッパの国境を越える環境問題と、それに対する人々の努力について理解する。  ○オランダを例に、環境問題と人々の環境に対する意識や行動について考え、表現できる。	
30	⑥新しい国のかたちをみざして (p.78～79)  ・広大な国土と寒冷な気候 ・ソ連からロシアへ ・EUとのつながり	○ロシア連邦の自然環境と人口分布の特色、歴史的な社会の変化について理解する。  ○ロシア連邦の鉱産資源を通じたヨーロッパ連合との関係や、経済格差の拡大について考え、表現できる。	
—	◆地域から世界を考えよう 原子力発電と環境問題 (p.81)  ・チェルノブイリ原発事故の衝撃 ・地球温暖化と原子力発電の安全性 ・温室効果ガスの削減と原子力発電の課題	○ヨーロッパを例に、原子力発電の状況について理解する。  ○原子力発電と環境への影響について関心をもち、その利点と課題について調べようとする態度を養う。	

#### 4. 世界に大きな影響力をもつ北アメリカ（配当5時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
31	①北アメリカをながめて (p.82～83)  ・多くの国々からなる北アメリカ ・先住民と移民の歴史 ・多様な自然環境	○北アメリカ州の歴史と自然環境を大観し、北アメリカを構成する主な国々の位置と名称を理解する。  ○北アメリカ州の地勢図から、主な自然地名や国々の位置と名称を読み取ることができる。	
32	②世界の食料庫 (p.84～85)  ・最大の農産物輸出国 ・地域の条件に適した農業 ・工業化した大規模農業	○アメリカ合衆国が世界最大の農産物輸出国であり、大規模な適地適作の農業経営が行われていることを理解する。  ○アメリカ合衆国の自然環境と農業地域の分布の関係について考え、表現できる。	
33	③世界の最先端をゆく工業 (p.86～87)  ・豊かな資源と盛んな工業 ・変化する工業地域 ・世界を動かす多国籍企業	○豊富な資源を背景としたアメリカ合衆国の工業生産と工業地域の特色を理解する。  ○重化学工業から、新しい工業分野の発展へと移り変わるなかで、先端技術を生かした産業が発達した理由について考え、表現できる。	
34	④都市生活とアメリカ文化 (p.88～89)  ・都市生活の拡大と消費文化 ・アメリカ文化の広がり ・見直される都市生活	○アメリカ合衆国の都市生活や合理的な文化の特色を知り、世界中に影響を与えていることを理解する。  ○身近な生活のなかに、どのようなアメリカ文化がみられるのかを考え、表現できる。	
35	⑤多民族の共存と貧困 (p.90～91)  ・多民族の共存の課題 ・増えるヒスパニック ・解消されない格差をめぐる問題 ・カナダの多文化主義	○アメリカ合衆国とカナダを例に、多民族・多文化からなる社会の特色について理解する。  ○アメリカ合衆国を例に、人種・民族に関する問題や貧困の問題について関心をもち、調べようとする態度を養う。	
—	◆地域から世界を考えよう 世界に展開する軍事力 (p.93)  ・世界的規模の軍事力 ・同時多発テロ事件と軍事力の再編成 ・軍事産業の影響力和米軍が直面する問題	○アメリカ合衆国のもつ強大な軍事力や、その世界各地への展開について理解する。  ○アメリカ軍基地の展開によって、その地域に与える影響について関心をもち、調べようとする態度を養う。	

## 5. 南アメリカの開発と環境（配当4時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
36	①南アメリカをながめて (p.94～95)  ・自然環境の特色 ・南アメリカの国々と歴史 ・多様な人々が混ざり合う社会	○南アメリカ州の自然環境と歴史を大観し、南アメリカを構成する主な国々の位置と名称を理解する。  ○南アメリカ州の地勢図から、主な自然地名や国々の位置と名称を読み取ることができる。	
37	②南アメリカの農業と開発 (p.96～97)  ・南アメリカの農業とその変化 ・アマゾン川流域の開発と環境 ・新たな農業への動きと開発	○南アメリカの農業とその変化、アマゾン川流域の開発と環境破壊について理解する。  ○アマゾン川流域の熱帯雨林に関心を持ち、農業やバイオ燃料との関係について調べようとする態度を養う。	
38	③南アメリカの都市が抱える環境問題 (p.98～99)  ・都市に集まる人々 ・ペルーの人々の暮らし ・都市が抱えるさまざまな問題	○ペルーを例に、都市化が進む理由と都市化による問題について理解する。  ○南アメリカの各国が抱える経済格差の問題について考え、表現できる。	
39	④南アメリカの経済開発と社会 (p.100～101)  ・豊富な鉱産資源と開発 ・ブラジルの経済成長と工業化 ・グローバル化と都市の開発 ・多文化社会が根づく南アメリカ ・日本からの移民の貢献	○南アメリカ各国における豊富な鉱産資源などによる工業化と経済発展について理解する。  ○南アメリカの多文化社会とその歴史的背景について考え、表現できる。	
—	◆地域から世界を考えよう 移動する人々ー日系移民の苦難の歴史 (p.103)  ・日本人移民のはじまり ・第二次世界大戦と日本人移民 ・世代をこえて…	○日本から南アメリカへ移動した、日系移民の人たちの歴史について理解する。  ○日系移民の人たちについて関心を持ち、移住先での暮らしなどについて調べようとする態度を養う。	

## 6. 他地域と結びつくオーストラリア（配当3時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
40	<p>①オセアニアをながめて (p.104～105)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オセアニアのイメージ</li> <li>・オセアニアという地域</li> <li>・ヨーロッパの影響</li> <li>・太平洋の島々</li> </ul>	<p>○オセアニア州の位置や歴史、自然環境を大観し、オセアニアを構成する主な国々の位置と名称を理解する。</p> <p>○オセアニア州の地勢図から、主な自然地名や国々の位置と名称を読み取ることができる。</p>	<p>○写真や資料とともに本文を読み進め、考えたことや感じたことをまとめる。</p> <p>○「他の地域の学習」を振り返りながら、オセアニアと他地域がどのように結びつくのか、予想してみる。 【1時間】</p>
41	<p>②多文化主義の社会をめぐって (p.106～107)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな国 オーストラリア</li> <li>・植民地支配とアボリジニの人々</li> <li>・ニュージーランドの牧畜業とその変化</li> <li>・白豪主義から多文化主義へ</li> </ul>	<p>○オーストラリアを例に、植民地化の歴史と先住民族の人たち、外交政策の変化について理解する。</p> <p>○オーストラリアへ移住する移民の出身地から、他地域との結びつきの変化について考え、表現できる。</p>	
42	<p>③アジアとつながるオセアニア (p.108～109)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北を向くオーストラリア</li> <li>・オセアニアの観光とその課題</li> <li>・日本とオセアニアのかかわり</li> </ul>	<p>○オセアニアの国々が、これまでのヨーロッパ諸国から、日本などアジアの国々との結びつきを強めていることを理解する。</p> <p>○オセアニアの観光による他地域との結びつきとその課題について関心をもち、調べようとする態度を養う。</p>	
—	<p>◆地域から世界を考えよう 変わる「楽園」の暮らし－太平洋の島々 (p.111)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サモアの国と社会</li> <li>・パプアニューギニアの国と社会</li> </ul>	<p>○サモアやパプアニューギニアを例に、島々からなる国の暮らしと、外国との結びつきを強めていることを理解する。</p> <p>○外国との結びつきが深まることによって、伝統的な暮らしがどのように変化したのかを考え、表現できる。</p>	

## 第4章 世界のさまざまな地域の調査(配当5時間)

累計時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
43	①調べる地域とテーマを決めよう (p.112~113)  ・地図を見てみよう ・自然環境を調べる ・歴史や宗教を調べる	○地域調査の活動にあたって、調査対象の地域や国と、調査の主題(テーマ)を決める。  ○調査対象の地域を概観するために、地勢図から国名や自然地名、自然環境などを読み取る。	○第3章における南アジアの学習(p.52~53)の学習を振り返りながら、写真や資料とともに本文を読み進め、考えたことや感じたことをまとめる。 ○これまでの世界地誌の学習を振り返りながら、自分が調査したいテーマ(主題)を考え、調べる地域や国のイメージを固める。 【1時間】
44	②地域の多様なすがたを調べよう (p.114~115)  ・現代までの歩みを調べる ・人々の考え方や社会を調べる ・文化を調べる	○調べる主題に応じて、地域の歴史、社会、文化などの基本的な地域情報を、多面的に調べる方法を身に付ける。  ○さまざまな資料から、調査対象の地域や国の特色を読み取る。	
45	③人口と都市の暮らしについて調べよう (p.116~117)  ・人口の動きを調べる ・農村から都市へ ・都市の暮らしを調べる	○調べる主題に応じて、人口や都市、人々の暮らしの変化を調べる方法を身に付ける。  ○景観写真の読み取りや主題図どうしの比較・関連などから、人口や都市に関する地域情報を調べる方法を身に付ける。	Op.15「人口の多い国と少ない国」、p.44「13億をこえる人々」の学習も振り返りながら、写真や資料とともに本文を読み進め、考えたことや感じたことをまとめる。 ○調べたいテーマと関連づけて、調査対象地域の人口と都市・農村の暮らしについて調べ、まとめる。 【1時間】
46 47	④地域や国の課題を調べよう (p.118~120)  ・災害などの環境問題を調べる ・地域や国の社会問題を調べる *「世界のさまざまな地域の調査」をまとめる (カレーからみた食文化)	○調べる主題に応じて、地域の国々にみられる課題を調べ、まとめる方法を身に付ける。  ○調査内容をレポートなどの形式にまとめる。また、調査活動を振り返り、調査の進め方や、その視点と方法などを確認する。	Op.118を参考にしながら、調査対象地域の課題を見出して、考えたことや感じたことをまとめる。 ※生徒からの相談や進捗状況を把握する機会を設けるなど生徒の学習状況を適宜把握し、適切に指導する。 Op.119・p.120などを参考にしながら、自分の定めたテーマ、地域・国について、調べた内容を整理し、グラフや地図に表現し、レポートにまとめる。 【1時間】

◇移行措置期間中の扱いとして、「世界のさまざまな地域の調査(第1編・第4章<p.112~p.120>)」の内容を省略し、「世界の諸地域(第1編・第3章)」において、「読み解こう」などで資料の読み取りに関する学習や、地図を活用する学習、適宜「ふりかえる」を活用するなどしてグループ討議の学習などを充実させることにより、「世界のさまざまな地域の調査」の内容を合わせて丁寧に指導することで対応できる。